



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	436,955	16.7	72,374	22.9	70,663	35.4	63,485	99.5
29年3月期第3四半期	374,394	△5.5	58,904	△8.1	52,204	△14.4	31,822	△26.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 79,736百万円 (82.7%) 29年3月期第3四半期 43,654百万円 (△1.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	180.36	167.86
29年3月期第3四半期	87.67	81.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	1,085,369	554,009	51.0	1,571.48
29年3月期	1,021,405	489,554	47.9	1,389.70

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 553,158百万円 29年3月期 489,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	20.00	-	22.00	42.00
30年3月期	-	23.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	588,000	14.4	92,000	20.1	89,500	30.6	76,000	40.2	215.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

・通期想定レート；1ドル=110円、1ユーロ=120円（第4四半期想定レート；1ドル=110円、1ユーロ=120円）

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	379,760,520株	29年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	27,763,031株	29年3月期	27,781,520株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	351,989,205株	29年3月期3Q	362,972,762株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）における医療市場では、12月に日本で平成30年度の診療報酬改定率が決定し、薬価及び特定保険医療材料価格はマイナス改定となりました。米国では税制改革法案が成立し、法人税率の引き下げとともに、医療保険制度改革法で定められた個人の医療保険加入義務条項の撤廃が決まりました。

このような環境の下、当社グループでは、「日本発のグローバル企業」として、トータルクオリティ（製品・供給・サービスなどを含めたトータルな質）においてワールドクラスの信頼を獲得し、世界の医療現場からトップブランドとして信頼されるメーカーとなることを中長期ビジョンとして掲げ、経営を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりであります。

<売上高>

売上高は、前年同期比16.7%増の4,370億円となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
売上高	374,394	436,955	16.7	12.2
売上総利益	203,712	244,705	20.1	14.6
営業利益	58,904	72,374	22.9	14.4
経常利益	52,204	70,663	35.4	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31,822	63,485	99.5	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	139,591	142,872	2.4	2.4
欧州	68,327	86,119	26.0	16.5
米州	98,934	126,290	27.7	21.6
アジア他	67,541	81,671	20.9	14.6
海外計	234,803	294,082	25.2	18.1
合計	374,394	436,955	16.7	12.2

日本では、心臓血管カンパニーのTIS（カテーテル）事業で、アクセスデバイスや超音波画像診断装置「VISICUBE」（ビジキューブ）、血管内超音波カテーテル「AltaView」（アルタビュー）等の販売が好調に推移し、増収となりました。

海外では、心臓血管カンパニーのTIS事業でアクセスデバイスの販売が好調に推移しました。米国自治連邦区プエルトリコの生産子会社では、ハリケーンの影響を受けて、9月20日以降、止血デバイス「アンジオシール」の生産活動を停止していましたが、11月より再開し、平成30年1月に出荷を開始しました。ニューロバスキュラー（脳血管）事業も脳動脈瘤治療用コイル等の販売が好調に推移し、売上を伸ばしました。血液システムカンパニーでも、血液センター向け及びアフレスシ治療分野の売上が伸長し、海外全体で増収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、主に収益性の高い心臓血管カンパニーの売上拡大やホスピタルカンパニーでの原価低減等により、前年同期比20.1%増の2,447億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、販売費及び一般管理費の増加を売上総利益の増加により吸収し、前年同期比22.9%増の724億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加に加えて、前年同期に計上した為替差損が当第3四半期連結累計期間は発生せず、営業外費用が減少したことから、前年同期比35.4%増の707億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加えて、米国税制改革による繰延税金資産及び繰延税金負債の再評価等の結果、法人税等に一過性の減少が生じたことから、前年同期比99.5%増の635億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	186,570	240,038	28.7	22.6
	(日本)	37,345	40,548	8.6	8.6
	(海外)	149,225	199,490	33.7	26.1
ホスピタルカンパニー	売上高	118,979	120,231	1.1	△0.3
	(日本)	93,515	93,793	0.3	0.3
	(海外)	25,464	26,438	3.8	△2.3
血液システムカンパニー	売上高	68,692	76,510	11.4	5.7
	(日本)	8,577	8,368	△2.4	△2.4
	(海外)	60,114	68,141	13.4	6.8

<心臓血管カンパニー>

日本では、TIS事業で、アクセスデバイスや超音波画像診断装置「VISICUBE」、血管内超音波カテーテル「AltaView」等の販売が好調に推移し、増収となりました。

海外では、TIS事業でアクセスデバイスの販売が好調に推移しました。米国自治連邦区プエルトリコの生産子会社では、ハリケーンの影響を受けて、9月20日以降、止血デバイス「アンジオシール」の生産活動を停止していましたが、11月より再開し、平成30年1月に出荷を開始しました。ニューロバスキュラー事業では、ハイドロゲルを使用した脳動脈瘤治療用コイルや吸引カテーテルの販売が好調に推移しました。その結果、海外全体で二桁増収となり、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比28.7%増の2,400億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本で8月に発売した「テルフュージョン輸液ポンプ28型」の販売が堅調に推移しました。また、疼痛緩和や腹膜透析向け製品の売上も伸長し、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比1.1%増の1,202億円となりました。

<血液システムカンパニー>

中南米やアジアで血液センター向け製品の販売が堅調に推移しました。また、アフエレシス治療分野の製品も、北米を中心とした買い替え需要を背景に売上が伸長しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比11.4%増の765億円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ640億円増加して10,854億円となりました。

流動資産は現金及び預金の増加等により、720億円増加して4,212億円となりました。

固定資産は72億円減少して6,609億円となりました。有形固定資産は71億円増加、無形固定資産は155億円減少、投資その他の資産は12億円増加となりました。

（負債）

負債の部は5億円減少して5,314億円となりました。

流動負債は短期借入金の返済等により、1,248億円減少して1,236億円となりました。

固定負債は長期借入の実行等により、1,243億円増加して4,078億円となりました。

（純資産）

純資産の部は、645億円増加して5,540億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ3.1ポイント増加し、51.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

各事業の業績が好調に推移しており、為替レートも期初の想定より円安で推移したことに加え、米国税制改革による繰延税金資産及び繰延税金負債の再評価等の結果、法人税等に一過性の減少が生じたことから、通期の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想値をそれぞれ上方修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2018年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,388	154,259
受取手形及び売掛金	109,508	123,656
たな卸資産	106,712	115,743
繰延税金資産	17,501	15,279
その他	11,503	13,728
貸倒引当金	△1,430	△1,499
流動資産合計	349,183	421,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,310	74,196
機械装置及び運搬具（純額）	53,359	53,357
土地	22,471	22,586
リース資産（純額）	1,780	1,746
建設仮勘定	30,445	26,700
その他（純額）	11,754	11,649
有形固定資産合計	183,122	190,237
無形固定資産		
のれん	217,334	208,420
顧客関連資産	85,338	81,355
技術資産	105,581	100,702
その他	46,463	48,702
無形固定資産合計	454,717	439,180
投資その他の資産		
投資有価証券	12,463	13,297
繰延税金資産	6,727	5,605
退職給付に係る資産	757	395
その他	10,263	12,148
投資その他の資産合計	30,212	31,448
固定資産合計	668,052	660,866
繰延資産		
繰延資産合計	4,169	3,335
資産合計	1,021,405	1,085,369

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,451	37,134
短期借入金	120,000	—
1年内返済予定の長期借入金	7,853	7,910
リース債務	231	112
未払法人税等	9,688	9,358
繰延税金負債	23	57
賞与引当金	6,317	3,592
役員賞与引当金	190	142
設備関係支払手形及び未払金	7,059	6,693
資産除去債務	72	—
その他	58,502	58,566
流動負債合計	248,389	123,569
固定負債		
社債	30,000	50,000
転換社債型新株予約権付社債	100,135	100,098
長期借入金	80,578	200,515
リース債務	230	267
繰延税金負債	47,501	30,563
役員退職慰労引当金	14	3
退職給付に係る負債	6,803	6,546
資産除去債務	84	87
その他	18,113	19,707
固定負債合計	283,462	407,790
負債合計	531,851	531,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	50,928	50,928
利益剰余金	459,261	506,901
自己株式	△108,225	△108,154
株主資本合計	440,680	488,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,706	2,433
繰延ヘッジ損益	△560	△4
為替換算調整勘定	56,257	70,438
退職給付に係る調整累計額	△8,938	△8,100
その他の包括利益累計額合計	48,464	64,766
新株予約権	307	685
非支配株主持分	101	165
純資産合計	489,554	554,009
負債純資産合計	1,021,405	1,085,369

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	374,394	436,955
売上原価	170,682	192,249
売上総利益	203,712	244,705
販売費及び一般管理費	144,807	172,330
営業利益	58,904	72,374
営業外収益		
受取利息	372	482
受取配当金	202	109
受取ロイヤリティー	106	88
為替差益	—	156
その他	744	850
営業外収益合計	1,426	1,688
営業外費用		
支払利息	885	797
売上割引	326	330
為替差損	3,662	—
持分法による投資損失	421	388
たな卸資産処分損	746	7
開業費償却	833	833
その他	1,249	1,040
営業外費用合計	8,126	3,399
経常利益	52,204	70,663
特別利益		
固定資産売却益	74	13
補助金収入	—	154
債務勘定整理益	—	558
保険差益	—	526
特別利益合計	74	1,253
特別損失		
固定資産処分損	299	394
事業再編損	373	192
投資有価証券評価損	2,178	—
その他の投資評価損	4,805	—
特別損失合計	7,657	586
税金等調整前四半期純利益	44,621	71,330
法人税、住民税及び事業税	15,195	23,086
法人税等調整額	△2,318	△15,174
法人税等合計	12,876	7,912
四半期純利益	31,744	63,418
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△77	△67
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,822	63,485

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	31,744	63,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,657	727
繰延ヘッジ損益	△87	555
為替換算調整勘定	13,102	14,196
退職給付に係る調整額	1,551	837
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	11,909	16,318
四半期包括利益	43,654	79,736
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,742	79,787
非支配株主に係る四半期包括利益	△88	△50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

従来、一部の生産子会社では、間接部門の人件費等の諸費用を販売費及び一般管理費として表示しておりましたが、前連結会計年度より売上原価として表示する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、販売費及び一般管理費に表示していた1,571百万円を売上原価に組替えております。

（セグメント情報）

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 （注1）	四半期連結 損益計算書 計上額 （注2）
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	186,570	118,979	68,692	374,242	152	374,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	186,570	118,979	68,692	374,242	152	374,394
のれん等償却除くセグ メント利益	47,519	17,785	10,283	75,588	△2,517	73,070
セグメント利益又は損 失（△）	45,560	17,785	△1,924	61,422	△2,517	58,904
のれん等償却除くセグ メント利益率（％）	25.5	14.9	15.0	20.2	—	19.5

（注）1. 調整額は以下のとおりであります。

- 1) 外部顧客への売上高の調整額152百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。
 - 2) セグメント利益又は損失（△）の調整額△2,517百万円には、たな卸資産の調整額1,141百万円、その他△3,659百万円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	240,038	120,231	76,510	436,780	174	436,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	240,038	120,231	76,510	436,780	174	436,955
のれん等償却除くセグ メント利益	61,926	20,844	12,389	95,160	△876	94,284
セグメント利益又は損 失（△）	52,736	20,844	△329	73,251	△876	72,374
のれん等償却除くセグ メント利益率（%）	25.8	17.3	16.2	21.8	—	21.6

（注）1. 調整額は以下のとおりであります。

1) 外部顧客への売上高の調整額174百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。

2) セグメント利益又は損失（△）の調整額△876百万円には、たな卸資産の調整額183百万円、その他△1,060百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。